

とくしま たいへいようせんそう ほん さが かた 徳島と太平洋戦争の本の探し方

☆「パスファインダー」とは?☆

「パスファインダー」とは、あるテーマについて調べたいと思ったときに役に立つ本や、情報の探し方についてまとめたものです。このパスファインダーでは「徳島と太平洋戦争」についての本や情報の探し方を紹介します。



1. キーワードをあつめましょう

調べ物をする時は、キーワードをたくさんあつめることがポイントです。

「徳島と太平洋戦争」から思いつく言葉を書き出してみましょう。

とくしまだいこうしゅう
徳島大空襲

がくどうそかい
学童疎開

げんぱく
原爆

たいへいようせんそう
太平洋戦争

あかがみ
赤紙

ビー
B29

ぼうくう
防空ごう

ぐんか
軍歌



2. 辞書・事典で調べてみましょう

①まずは、辞書や百科事典・図鑑などで「徳島と太平洋戦争」について調べて、その文章の中からさらにキーワードをみましょう。

☆赤いラベルに「R」の文字がついている辞書や辞典は貸し出しできません。

☆請求記号とは本を置いてある場所をしめしています。

書名	著者	出版社	出版年	請求記号
アジア・太平洋戦争	もり たけまる 武麿 // 監修	ポプラ社	2006年	R/210/ アシ
写真でみる太平洋戦争とくらし・道具事典 ひと 人びとのくらし・道具	しょうわかんがくげいぶ かんしゅう 昭和館学芸部 // 監修	きん ほししゃ 金の星社	2016年	210/ シヤ
へいわ かんが 平和を 考える戦争遺産図鑑	やすじま た かよし 安島 太佳田 // 写真 著 よしだ ゆたか 吉田 裕 // 監修	いわさきしょてん 岩崎書店	2015年	210/ ハイ

②インターネットのデータベースや検索サイトで、キーワードを集めましょう。

調べたいテーマを選び、検索をするとそれに関連した情報がホームページに紹介されています。データベースとは、大量のデータを集めて検索をしやすい形に整理したものです。

★「Yahoo!きっず」 <https://kids.yahoo.co.jp/>

小・中学生のためのホームページです。

★「学研キッズネット」 <https://kids.gakken.co.jp/>

学研がつくっている小・中学生のためのホームページです。





3. 本を探してみましよう

知りたいことがみつかったら、そのことについてくわしく書かれた本を探してみましよう。

☆同じ請求記号の場所には、似たような内容の本が並んでいます。

書名	著者	出版社	出版年	請求記号
シリーズ戦争 子どもたちが綴った戦争体験 全5巻	村山 一郎 // 著	新日本出版社	2021年	210/シリ
聞かせて、おじいちゃん 原爆の語り部・森政忠雄さんの決意	横田 明子 // 著 山田 朗 // 監修	国土社	2021年	319/キカ
ナガサキの命 伝えたい、原爆のこと	吉永 小百合 // 編 男鹿 和雄 // カバー絵 挿絵 YUME // 挿絵	KADOKAWA	2015年	916/ナカ
語り継ぐ徳島大空襲 戦跡めぐりピースウォーク	九条の会徳島 // 編	九条の会 徳島	2020年	T/209.6/キユ

★学校向けに、戦争についての本を集めた団体貸出セットもあります。



4. 新聞・雑誌で調べましよう

図書館には色々な新聞や雑誌をおいています。新しい新聞や雑誌では最新のニュース、古い新聞や雑誌ではその当時のニュースを知ることができます。昔の新聞や雑誌は書庫に入っていることもあるので、図書館の人に聞いてください。



5. インターネットで調べましよう

インターネットの情報は、まちがっていたり、古かったり、時間がたつと消えてしまうこともあります。使う時には、正しいかどうかをしっかりとみきわめましよう。

★徳島大空襲デジタルアーカイブ

https://shinmachigawa.com/tarda_photo.html

(戦前から戦後の徳島の写真を見ることができます。)

★NHK「戦後75年 戦争について考えてみよう」

<https://www.nhk.or.jp/school/sensou/>

(広島原爆や、戦争中の生活などの紹介をしています。)

★総務省「子どもと学ぶ太平洋戦争」

https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/daijinkanbou/sensai/kids/

(国が作った、戦争に関する漫画や動画を見ることができます。)



6. 外に出て調べてみましょう

徳島市内にも戦争遺跡（戦争の跡地や戦争のために造られた建物、被害にあった建物のこと）と呼ばれる場所があります。東船場通りにある「旧高原ビル」は戦争時の大火によってひび割れたガラスを今でも見ることができます。みなさんの身近な場所にも戦争遺跡や、防空ごうの跡などがあるかもしれません。また、博物館や資料館には当時の貴重な物や資料が保管されています。本を読むだけではわからないことは実際に見たり、聞いたりするとより詳しく知ることができます。機会があれば出かけてみましょう。

徳島や近畿・中国地方にある戦争資料館

- 徳島県戦没者記念館一あしたへー（徳島市）（<http://izokukai.jp/>）
- ピースおおさか（大阪府）（<https://www.peace-osaka.or.jp/>）
- 広島平和記念資料館（広島県）（<https://hpmmuseum.jp/>）

